

立春の前に

校長 山川 賀

2月に入りました。暦の上では2月4日が立春、その前日2月3日が節分です。節分とは文字通り“季節を分ける”という意味があります。一般に“立春”という言葉はなじみ深いですが、実は春夏秋冬と四季があるので、立夏・立秋・立冬もあります。では、なぜ立春の前日だけ“節分”というのかというと、1年が春から始まることもあって、2月3日を節分と指すようになったそうです。

節分には豆まきをしたり、恵方巻を食べたりします。豆まきは邪気を鬼として豆をまき、追い払う年中行事です。昔から北東の方角が鬼の門、鬼門と呼ばれ、縁起が悪い方角とされていました。北東は12支の動物で表すと丑寅（うしとら）、つまり牛と虎です。そのあたりから鬼といえば頭に牛の角、虎柄のパンツをはかせるようになったと言われています。また、恵方巻は福を巻き込んでくれるので、切らずにそのまま食べます。ちなみに今年の恵方巻の方角は、南南東で、その方角を見ながら黙って食べると縁起が良いとされています。歳徳神（としとくじん）という幸運や金運の神様がいるからそちらを向くのですが、年によって居る場所を変える神様なので、毎年向く方角も変わるそうです。今のように恵方巻を全国に広めたのは、ある有名コンビニらしいのですが、米の価格高騰により、恵方巻にも影響が出ているようです。

節分を過ぎると、暦の上では春ですが、実際には1年のうちで一番寒さがこたえる時節です。空気も乾燥し、インフルエンザも流行ります。市内小中学校においても、連日学級閉鎖の情報が入ってきます。手洗いうがいとよく言われますが、これがシンプルであり、一番効果的な予防法です。生徒自身のみならず家族や友人を守る意味でも励行して欲しいと思います。

さて、3年生の進路も正念場に差し掛かりました。ここまで積み上げた自身の力を存分に発揮できるように体調管理をしっかりと行って欲しいです。日程的には、1月下旬に私立推薦入試及び発表があり、2月2日は都立高校推薦入試の発表日、そして私立一般受験、都立一般受験と続きます。ほとんどの3年生が、自分が合格・不合格という形で評価される経験は初めてではないでしょうか。試験本番はもとより、合否の結果がくるまで、心が落ち着かないことでしょう。そんな3年生のみなさんに次の言葉を送ります。「全ての出来事は自分の責任で起きている。そして、これから出会う人、これから起きることは、全てがあなたにとって必要な人、必要なことなのです」。縁起の悪い話だと思われるかもしれません、敢えて伝えます。もし、うまくいかなかつたとしても、その結果はあなたが夢にまた一歩近づき、成長した証だと思い、自分を信じ、前向きな努力を続けて欲しいと思います。私にも何度か挫折の経験があります（実は東京都の教員採用試験に合格するまで3回落ち、教員になるまで4年かかりました）。試験で落ちるのは大変辛いことです。心がしぶんで、全てを投げ出したくなります。でも、この失敗は、あなたを成長させるために、あなたが乗り越えられるようにと、運命の神様があらかじめ用意してあったことだと考えるのです。神様は、乗り越えられない試練は与えません。失敗から立ち上がり、次の目標に向かって頑張ることができるのも若者の特権です。みなさんの明るくたくましい若さに期待しています。

鎌水中学校グループ 育てたい児童・生徒像 「好きになれる～自分・仲間・学校・地域・挑戦～」



鎌水中学校地域協働本部主催 小中学生のためのキャリア育成プログラム(第2回)

キャリア教育(自分理解)の充実



1月10日（土）足立純一先生をお招きして、第2回の小中学生のためのキャリア育成プログラム『好き』探しを開催（全3回とも森田知子学校コーディネーターの企画運営です）しました。鎌水中学校の生徒だけでなく近隣の学校の児童・生徒、保護者、地域の方が参加して、マインドマップの作成を通して「自分の好き」について考えたり、対話したりしました。第3回「私のシンボル（竹内康二教授（明星大）」は令和8年2月28日（土）の開催です。

対話の活動

ルールメイキング・対話の文化の醸成

1月21日（水）生徒会役員や中央委員会のメンバー、班長等が集まって、共感度に応じたアクションを中心に話し合いの実践をしました。話し合いのテーマは「校内への不要物の持ち込み」です。リップクリームやPCのキーボードについて、異なる意見が出ましたが、それぞれが意見をまとめようと努力していました。今後は全校で話し合いを進めていきます。



↑生徒が意見を発表する様子

部活動インターんシップ

小中一体化の取組



1月29日（木）に1月の部活動インターんシップ（小学校5・6年生の月一部活動体験）を実施しました。毎月、継続して参加している児童もいて、とても慣れた様子で部活動に参加していました。



図書委員会 図書館イベント

生徒会・委員会活動の活性化



1月26日（月）昼休みに図書委員が紙芝居の読み聞かせを行いました。

「おいしいおかゆ」という物語で、貧しい母と娘のもとに、不思議な力をもつ小さな鍋がやってくるお話でした。今回のお話は「グリム童話」の中の1つであり、他にも面白いお話が沢山あるのでぜひ借りて欲しい！との事でした。

鎌水中学校は「対話de指導」



生徒会小学校訪問

小中一体化の取組・生徒会活動の活性化・キャリア教育の充実



↑生徒会役員が出したクイズに答える児童たち

1月28日(水)、生徒会役員が鎌水小学校5年生、・由木西小学校5年生(オンラインで参加)に中学校のことを説明しました。生徒会役員はスライドを使って鎌水中学校の生活や標準服、ルールメイキングについて説明しました。児童たちは生徒会役員が出したクイズに大盛り上がりでした。中学校への関心も高まったと思います。

生徒会役員は(※3日後に新入生保護者説明会を控えていたため)「もっと言葉を精選し、抑揚をつけたい」等振り返っていました。

鎌水の良い大人と対話する会～職業講話～

キャリア教育(自分理解)の充実



1月31日(土)、9名の鎌水の大人を講師に招いて「鎌水の良い大人と対話する会」を実施しました。この会は昨年度の鎌水小中合同学校運営協議会の熟議の中で、委員の方から「子どもたちに良い大人と出会わせたい。」という御意見をいただいたことから、鎌水中学校が例年実施していた「職業講話」と絡めて、昨年度より実施しているものです。「お知らせ」を配布した鎌水小学校の5・6年生(高田鎌水小学校長と森田知子鎌水中学校コーディネーターには児童の教室で広報していただきました)も来てくれました。鎌水中学校に来ていただいた鎌水の良い大人は9名(消防士、ゲームクリエイター、ゲームアートディレクター、会社代表取締役、ペットショップ副店長、学校事務員、幼稚園副園長、パン屋さん等)。生徒たちは3名と対話しました。

生徒たちは「自分の心が動くことを中心に決めることが良いと思った。」「人生考え方によって変わると、それこそが楽しく生きるコツだと思った。」「行動できる大人になりたいと思った。講師の方の生き方が、とてもかっこよかった。」「気合や根性で粘り強く、辛くても気合でまた次の成功の為に歩んでいくのが凄く自分に自信をつけることができる素敵なことだと感じました。」「今後の進学先選択も自分の将来と相談して決めなければいけないと強く思った。」「これまで自分のために仕事をするという考えでしたが、貢献するために仕事をするというお話を聞いて、貢献したら自分も周りも幸せになると思い考えが変わりました。」等、感想を述べていました。

普段、あまり関わることのできない「鎌水の大人」からたくさんのこと学びました。

鎌水中学校は「対話 d e 指導」

小中学生のための これからの大切な人生を見据えた キャリア育成プログラム

専門家による3つのワークショップ

①私って何色?

2025.11.22(土)

明星大学の星山先生著書
「虹色なこどもたち」
より
三浦佐知子先生

②「好き」探し

2026.1.10(土)

「マインドマップ」
を使った自分の好きや
強みの可視化
足立純一先生

③私のシンボル

2026.2.28(土)

明星大学の学生の皆さん
とMyシンボル作成
そして自分理解へ
竹内康二教授

上記3日程全て13:30~14:30、鎌水中学校にて、筆記用具と上靴が必要です。

※実施教室は、参加人数により決まるため当日正門にて掲示いたします。

What'sキャリア?

キャリアとはラテン語が
語源のカタカナ英語。

日本では職業選択の意味
で使われる事が多いですが、本来はその人の歩む
道を意味し、「人生」そのものと考えます。

キャリア育成プログラムは
何を学ぶことができるの?

キャリア育成の第一歩は、自分をよく知ることから始まります。人生は選択の繰り返しです。子どもから青年、青年からおとなへ進む中で、進学や就職、様々な選択の場面に遭遇します。そんな時、「自分を知っていること」(=自分理解)は自分の人生の幸せな選択に大いに役立ちます。本キャリア育成プログラムは、人生において繰り返し必要になる自分理解の方法を楽しく学ぶことができます。



※3回目2026/2/28のお申込です
※保護者の方、教職員の方の参加も可

参加無料

【問い合わせ先】

八王子市立鎌水中学校 末次哲侍(副校長)
TEL: 042-675-7331

▶お申し込みはこちらか
ら(必ず保護者の方がお
申込み下さい)
▶〆切は2026/2/25

